



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月3日

上場会社名 イビデン株式会社
 コード番号 4062 URL <https://www.ibiden.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 青木 武志

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画本部副本部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584 - 81 - 3111

四半期報告書提出予定日 2020年8月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	64,827	11.6	6,536	44.7	7,352	42.1	4,596	58.3
2020年3月期第1四半期	73,301	2.0	4,517	53.1	5,174	28.9	2,903	8.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 8,011百万円 (%) 2020年3月期第1四半期 528百万円 (73.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	32.89	
2020年3月期第1四半期	20.78	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	525,452	279,186	52.0	1,956.78
2020年3月期	518,619	273,934	51.7	1,920.19

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 273,484百万円 2020年3月期 268,318百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		20.00	35.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.00		20.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	135,000	6.5	10,000	30.8	10,000	18.0	5,000	28.3	35.78
通期	310,000	4.7	27,000	37.2	27,000	26.4	15,000	32.4	107.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期1Q	140,860,557 株	2020年3月期	140,860,557 株
2021年3月期1Q	1,098,320 株	2020年3月期	1,124,913 株
2021年3月期1Q	139,755,937 株	2020年3月期1Q	139,733,265 株

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、米中の通商問題に端を発した中国経済の減速、更には、前年度終盤からの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の世界的流行による経済活動の減速など不安定さを増しております。国内経済も、不安定な世界経済の動向に伴う影響を受け、輸出や生産に弱さが見られるなど、企業をとりまく経営環境は不透明な状況にあります。

半導体・電子部品業界の市場は、パソコン・スマートフォン市場は前年対比でマイナス成長となりましたが、データセンター向けサーバー市場を中心とした新たな市場が概ね堅調に推移したこともあり、全体としては成長傾向で推移しております。

自動車業界の排気系部品市場は、自動車販売台数が世界的に大きくマイナス成長となったことに加えて、欧州乗用車市場におけるディーゼル車販売比率の低下が継続するなど、厳しい状況が継続しました。

このような情勢のもと、当社におきましては、2018年度より5ヵ年の中期経営計画「To The Next Stage 110 Plan」を始動しており、今年度は折り返しの年となります。中期経営計画の達成に向け、人財育成を基盤に、伸びる市場に対して積極的に経営資源を投入し、既存事業の競争力と新規事業の拡大による安定した成長の実現に向けた取り組みを進めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は648億27百万円と前年同期に比べ84億74百万円(11.6%)減少しました。営業利益は65億36百万円と前年同期に比べ20億19百万円(44.7%)増加しました。経常利益は73億52百万円と前年同期に比べ21億78百万円(42.1%)増加しました。親会社株主に帰属する四半期純利益に関しましては45億96百万円と、前年同期に比べて16億92百万円(58.3%)増加しました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

電子事業

パッケージ(PKG)事業におきましては、パソコン市場全体は前年対比でマイナス成長となりましたが、テレワーク需要の高まりでマイナス幅が緩和されたことに加え、情報通信技術(ICT)の進展に伴うデータ処理量の増加により、データセンターで使われるサーバー向けICパッケージ基板の需要が順調に推移した結果、売上高は前年同期に比べ増加しました。

マザーボード・プリント配線板(MLB)事業におきましては、モジュール基板の売上は堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けの売上が減少した結果、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、電子事業の売上高は347億44百万円となり、前年同期に比べ6.1%増加しました。同事業の営業利益は、PKG事業における高付加価値製品への注力に加え、不採算製品の生産縮小などによる事業の選択と集中を進めた結果、61億84百万円となり、前年同期に比べ115.4%増加しました。

セラミック事業

自動車排気系部品であるディーゼル・パーティキュレート・フィルター(DPF)および触媒担体保持・シール材(AFP)は、COVID-19による自動車メーカーの生産減に加え、DPFについては、欧州市場を中心としたディーゼル乗用車比率の低下による影響を受け、売上高は前年同期に比べ減少しました。

NOx浄化用触媒担体(SCR)は、主に石炭火力発電所で使用される定置式の脱硝触媒の販売がおおむね堅調に推移したことにより、前年並みの売上高となりました。

特殊炭素製品(FGM)は、半導体市場が引き続き調整局面であることに加え、COVID-19の影響による車輻・航空部門の減速などにより、売上高は前年同期に比べ減少しました。

以上の結果、セラミック事業の売上高は159億39百万円となり、前年同期に比べ35.4%減少しまし

た。同事業の営業損失は6億79百万円となりました(前年同期は9億27百万円の営業利益)。

その他事業

建設部門におきましては、COVID-19の流行拡大に伴い、一部民間工事の中断・延期がありましたが、発電プラント事業の受注が堅調に推移し、売上高は前年同期に比べ増加しました。

建材部門・その他事業におきましては、COVID-19による住宅市場の低迷や外出自粛の影響を受け、化粧板や住宅設備機器、石油製品等の販売が減少し、前年同期に比べ売上高は減少しました。

以上の結果、その他事業の売上高は141億43百万円となり、前年同期に比べ11.0%減少しました。同事業の営業利益は、10億65百万円となり、前年同期に比べ49.8%増加しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期連結累計期間の連結業績予想につきましては、2020年4月27日に公表しました数値を変更しております。詳細につきましては、本日(2020年8月3日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	175,151	152,519
受取手形及び売掛金	69,013	60,595
商品及び製品	12,416	16,079
仕掛品	13,248	15,136
原材料及び貯蔵品	19,615	22,003
その他	10,934	13,433
貸倒引当金	△136	△114
流動資産合計	300,244	279,653
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	56,249	62,120
機械装置及び運搬具（純額）	43,322	42,420
土地	19,800	19,821
リース資産（純額）	7	49
建設仮勘定	48,731	61,635
その他（純額）	5,403	5,191
有形固定資産合計	173,514	191,238
無形固定資産	4,486	4,391
投資その他の資産		
投資有価証券	34,461	45,535
長期貸付金	8	8
繰延税金資産	4,463	3,343
その他	1,684	1,521
貸倒引当金	△244	△240
投資その他の資産合計	40,374	50,169
固定資産合計	218,374	245,799
資産合計	518,619	525,452

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,555	45,637
短期借入金	30,030	30,030
未払金	18,188	21,979
未払法人税等	3,016	1,557
賞与引当金	3,906	1,991
役員賞与引当金	132	-
関係会社整理損失引当金	763	437
設備関係支払手形	7,721	6,864
その他	11,422	13,670
流動負債合計	120,736	122,169
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	70,000	70,000
リース債務	38	32
再評価に係る繰延税金負債	68	68
退職給付に係る負債	827	850
株式報酬引当金	250	218
繰延税金負債	1,644	1,739
その他	1,118	1,186
固定負債合計	123,948	124,096
負債合計	244,684	246,265
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	64,579	64,579
利益剰余金	128,578	130,376
自己株式	△2,575	△2,524
株主資本合計	254,734	256,584
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,232	12,772
繰延ヘッジ損益	-	2
土地再評価差額金	160	160
為替換算調整勘定	4,191	3,965
その他の包括利益累計額合計	13,584	16,899
非支配株主持分	5,615	5,702
純資産合計	273,934	279,186
負債純資産合計	518,619	525,452

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	73,301	64,827
売上原価	56,775	46,773
売上総利益	16,525	18,053
販売費及び一般管理費	12,008	11,516
営業利益	4,517	6,536
営業外収益		
受取利息	76	48
受取配当金	533	520
為替差益	16	147
その他	151	210
営業外収益合計	778	927
営業外費用		
支払利息	27	63
持分法による投資損失	1	1
その他	92	46
営業外費用合計	121	111
経常利益	5,174	7,352
特別利益		
固定資産売却益	5	25
投資有価証券売却益	-	25
その他	0	4
特別利益合計	5	55
特別損失		
固定資産除却損	372	277
関係会社整理損	465	-
支払補償費	-	996
災害による損失	-	165
その他	141	19
特別損失合計	980	1,459
税金等調整前四半期純利益	4,200	5,949
法人税等	1,237	1,298
四半期純利益	2,963	4,650
非支配株主に帰属する四半期純利益	59	53
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,903	4,596

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	2,963	4,650
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,919	3,580
繰延ヘッジ損益	-	2
為替換算調整勘定	△4,354	△221
その他の包括利益合計	△2,434	3,361
四半期包括利益	528	8,011
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	455	7,912
非支配株主に係る四半期包括利益	73	99

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報)「新型コロナウイルス感染症に伴う会計上の見積りについて」に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	32,733	24,677	57,410	15,890	73,301	—	73,301
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	64	64	3,094	3,158	△3,158	—
計	32,733	24,741	57,475	18,984	76,460	△3,158	73,301
セグメント利益	2,871	927	3,799	711	4,510	6	4,517

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電子	セラミック	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	34,744	15,939	50,683	14,143	64,827	—	64,827
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	39	39	7,814	7,853	△7,853	—
計	34,744	15,978	50,723	21,957	72,680	△7,853	64,827
セグメント利益 又は損失(△)	6,184	△679	5,505	1,065	6,571	△34	6,536

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建設、建材、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△34百万円は、セグメント間取引消去及び配賦不能費用であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「建設」として記載していた報告セグメントについては、量的な重要性が乏しくなったため、「その他」の区分に含めております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。